

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 660201	多文化共生推進事業				主管課名	協働推進課				
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち				課長名	柴本誠治				
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち									
		基本事業	多文化共生の推進									
(1)事業の概要												
みよし市では外国籍居住者が全人口の約3%を占めており、定住化も進んでいる。外国人と日本人がともに住みよい環境を整えるためには相互理解が必要であり、多文化共生の第一歩として意思疎通の手段に対応することを推進する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						日本語教室の開催回数		回				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		ボランティアの講師による日本語教室を週2回開催。外国人学習者を増やすため、市内の集客施設、特に外国人がよく利用する施設に依頼しPRチラシを配布した。指導法のレベルアップを目指して、ボランティア向け勉強会を実施し日本語教室の充実に努めた。										
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
みよし市在住外国人						名 称		単 位				
						みよし市在住の外国人の人数		人				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
日本語教室での学習者数を増やす						名 称		単 位				
						みよし市日本語教室に通う外国人学習者の人数		人				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
多文化共生、国際交流の推進を図る。						名 称		単 位				
						国際交流事業に対してやや満足以上と答えた比率		%				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		回	74	72	73	73	73	73				
(6)の対象指標		人	1,567	1,539	1,520	1,510	1,500	1,490				
(7)の成果指標		人	63	84	85	86	87	87				
(8)の結果の成果指標		%	45.9	35.8	37	39	41	43				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	18
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	832	1,263	389	332	332	332				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	682	893	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	150	370	389	332	332	332			
人件費B		千円	1,948	1,984	1,984	1,984	1,984	1,984				
正職員従事時間×人数		時間×人	176 × 3	176 × 3	176 × 3	176 × 3	176 × 3	176 × 3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C		千円	2,780	3,247	2,373	2,316	2,316	2,316				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	2	2	2	2	2	2				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660201	多文化共生推進事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成22年度			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			外国人の日本語学習を始めとする在住外国人支援のために活動するボランティアの育成と協働による事業推進が大きな課題である。
三好町国際交流協会の解散に伴う				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない				
変化している				
変化した内容				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市多文化共生センターの利用登録に関する要綱
						在住外国人の日本語修得機会の創設による多文化共生の推進
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
		追加	→			
		絞込み	→			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	案内チラシの配布範囲を拡充する	
		できない	→			
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名		
		ない	→			
		庁内事業	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
		庁外事業	→			
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
		ない	→			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
		ない	→			
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
		現状で適正	→			
		検討が必要	→			
		受益者がいない	→			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	多文化共生を推進するために、ボランティア・NPO等民間国際交流団体の活動を支援することも検討する必要がある。					